

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	212	防犯事業経費	会計	01	一般会計
基本施策	12	犯罪や交通事故を未然に防ぐ	款	02	総務費
			項	01	総務管理費
			目	21	諸費
担当部課名	総務部 総合危機管理課		細目	105	防犯事業経費
作成者氏名	鹿島 泰近	連絡先	22-9640	細々目	01
					防犯事業経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	市民、企業、団体等	市民自らが活動主体となっている防犯団体等へ助成及び事業委託し、市民自らの手による活動により、地域全体の防犯力を高めることで市民が安全、安心に暮らせるまちづくりに繋がる。		
本事業の内容	伊賀地区防犯協会負担金(4,539,700円) 名張地区防犯協会負担金(374,000円) 上野地区防犯事業委託料(200,000円) 伊賀地区防犯協会上野支部事務局の運営 自主防犯青色回転灯パトロール委員委嘱事務			
開始年度	平成 17 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	1	1	1
	人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
支出内訳(千円)	事業費(B)	5,113	5,114	5,114
	委託料	200	200	200
	負担金	4,913	4,914	4,914
	その他			
合計(A+B)		12,313	12,314	12,314
財源内訳(千円)	特定財源			
	国庫支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源		12,313	12,314	12,314
上記 ~ に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
防犯講演会の開催	回	1	1	1			
防犯啓発活動の実施(上野支部)	回	5	5	5			
自主防犯青色回転灯パトロール実施団体	団体	4	8	12			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
刑法犯発生率	市人口を分母とし、刑法犯認知件数を分子とする比率を指標とする。 (1,930件(H15) / 100,000人)	%	1.9 目標 ()	1.8	1.7
自主防犯青色回転灯パトロール実施団体	住民自治区域(住民自治協議会単位)数を分母とし、パトロール実施団体数を分子とする比率を指標とする。 (4団体 / 38地区)	%	10.5 目標 ()	21.1	31.6

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀北部5市町村による上野地区防犯協会が合併後、名称、組織等を一新した伊賀地区防犯協会及び青山地区を包括する名張地区防犯協会へ事務局運営のため負担金を拠出している。また、本庁総合危機管理課においては、伊賀地区防犯協会上野支部の事務局を預かり、上野地区における防犯事業を委託している。ただし、他の支所管内においては合併後、補助金等が無くなったことにより、活動費が無い状況であるが、昨今の犯罪状況を考えると一定の活動費が必要と考えられるため、各協会への負担金の在り方、内容について改善する必要がある。また、各支部組織については、支部によって運営形態、組織構成等に差異があるとともに、防犯に係る団体が複数ある地区もあることから、ある一定のレベルまで支部組織等を揃える必要がある。

評価	必要性	4	合併後、上野支部を除く、各支部への活動補助金の縮減を測りました。しかし、昨今の犯罪状況により市内各地で市民自らによる防犯活動が活発化しつつあり、伊賀地区防犯協会への負担金を活用することを検討しながら引き続き負担していく必要がある。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		